

# 「フランス及びヨーロッパ諸国のCOVID-19 へのモビリティ・まちへの影響と対応」

OECD 国際交通フォーラム 政策分析官 伊藤明日香

2021年12月3日

# OECD(Organisation for Economic Co-operation and Development : 経済協力開発機構)



- ・1948年，米国による戦後の欧州復興支援策であるマーシャル・プランの受入れ体制を整備するため，パリに設立。

- ・欧州経済の復興に伴い，欧州と北米が対等のパートナーとして自由主義経済の発展のために協力を行う機構として発展。

- ・日本は1964年に，非欧米諸国として初めて加盟。現在36か国。



**NEA**

NUCLEAR ENERGY AGENCY



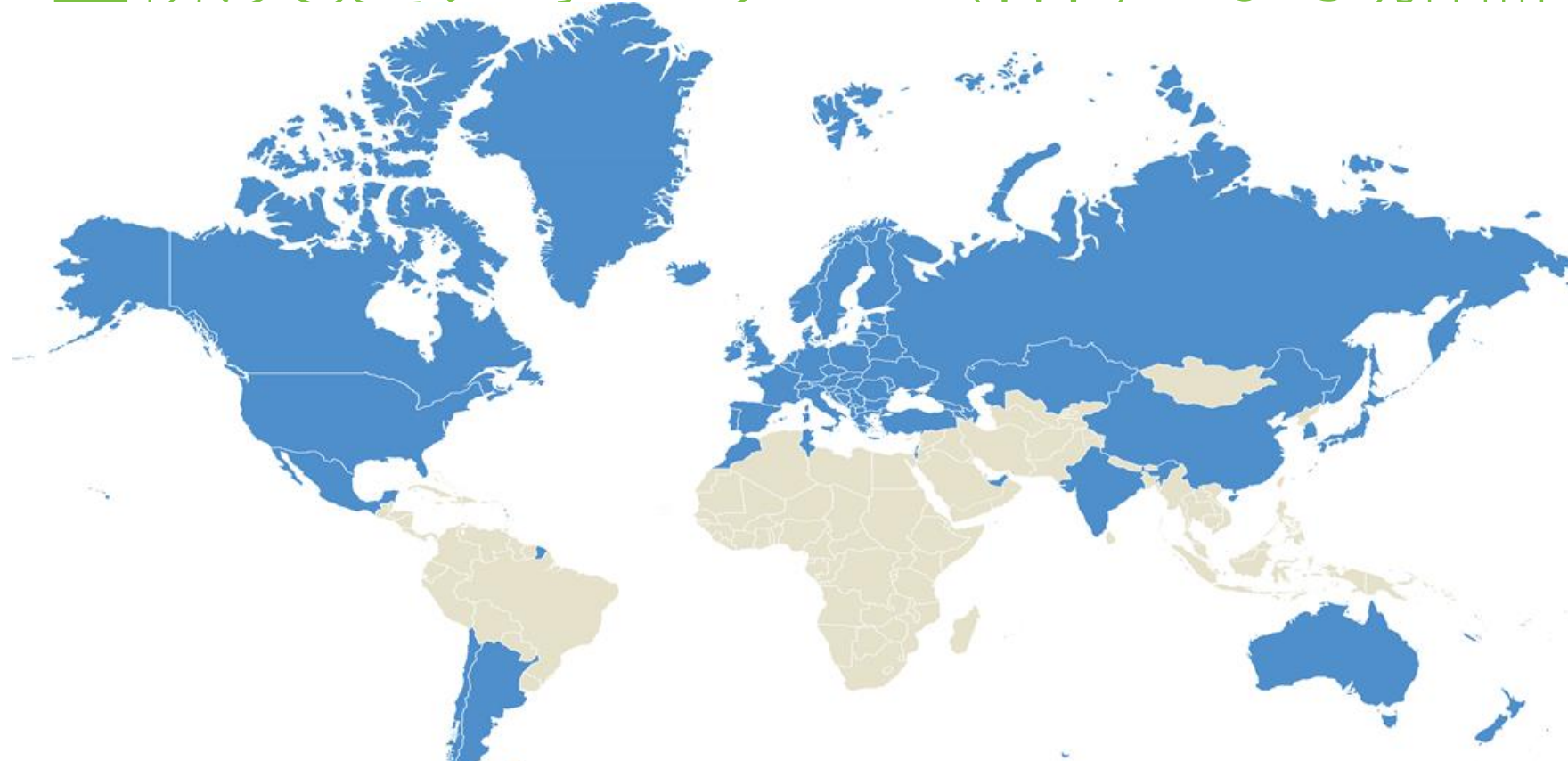
International  
Energy Agency



International  
Transport Forum



# 国際交通フォーラム（ITF） 63加盟国



2020

議長国



2021



2022

- ・ヨーロッパの国・非ヨーロッパの国を交互。
- ・2012年の議長国は日本。

# 交通分野に特化した国際機関

日本を含む63か国が加盟

OECD(経済協力開発機構)の一部

## シンクタンク

政策分析

定量分析・統計

企業・自治体とのネットワーク

## 国際交通大臣会合

加盟国の大臣級、産業界の代表が

年一度集まる

“交通<sup>5</sup>におけるダボス会議体”(サミット)







Ministerial Session

International Transport Forum

TRANSPORT CONNECTIVITY  
for Regional Integration

Regional Partner

Gold Sponsor

DEKRA  
On the safe side.

Silver Sponsors

BOMBARDIER

TOLL COLLECT  
service on the road

Event Partner

VIA VAN

## Covid-19 Transport Briefs



**Gender Equality, the Pandemic and a Transport Rethink** (Mar. 2021)



**Stimulating Post-Pandemic Recovery through Infrastructure Investment** (Mar. 2021)



**Lessons from Covid-19 State Support for Maritime Shipping** (Oct. 2020)



**Drones in the Era of Coronavirus** (Jun. 2020)



**Restoring Air Connectivity Under Policies to Mitigate Climate Change** (May 2020)



**How Badly Will the Coronavirus Crisis Hit Global Freight** (May 2020)



**Re-spacing Our Cities For Resilience** (May 2020)



**Global Container Shipping and the Coronavirus Crisis** (Apr. 2020)



**Electric Mobility : Taking the Pulse in Times of Coronavirus** (Apr. 2020)



**How Transport Supports the Health System in the Corona Crisis** (Apr. 2020)



## フランスの状況：行動様式の変容、移動抑制と社会機能維持

- ・2018年末から2019年はじめ：反政権運動：黄色いベスト運動
  - ・2019年9月末から：年金改革法案に対する反対ストで、バスや鉄道の運行本数大幅に限定され始める
  - ・2020年3月12日：フランス国内のCovid-19感染者が増加、飲食店の閉鎖
  - ・2020年3月16日：教育機関の閉鎖 17日：入国禁止及び国内外出制限の導入
  - ・2020年5月11日：ロックダウンの段階的解除、公共交通機関内でのマスク着用義務
- ⇒ 交通分野：「人々の移動を抑制しつつ、社会機能維持に不可欠なサービスを維持すること」が対応の原則に。
-



# 移動制限及び公共交通機関のCovid19対策・運行率の変遷(2020年)

	3月17日～ 移動制限	5月11日～ 制限解除 第1フェーズ	6月2日～ 制限解除 第2フェーズ	6月22日～ 制限解除 第3フェーズ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 通院、通勤、食料品調達・運動等以外の移動を制限</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自宅から100km圏内での移動制限の解除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 100km制限の解除(国内旅行解禁)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 6/15、EU域内：入国制限解除</li> <li>✓ 7/1、EU域外：段階的に入国制限解除</li> </ul>
【対策の基本方針】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>社会機能維持に必要な運行の維持</u></li> <li>・ 衛生対策の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 駅・車内等の消毒</li> <li>✓ 注意喚起アナウンス</li> <li>✓ 運転者と乗客の接触回避等</li> </ul> </li> <li>・ 医療従事者向けサービスの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>公共交通機関内での混雑回避、社会的距離確保の徹底</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <u>運行率の最大限の引き上げ</u></li> <li>✓ <u>利用者数の抑制</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ テレワークの最大限の継続</li> <li>➢ 組織的な時差出勤の実施</li> <li>➢ <u>公共交通機関の利用制限</u></li> <li>➢ 移動手段の分散化(自転車、自動車相乗り等)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ マスク着用義務化</li> <li>・ 衛生対策(消毒等)の継続・強化</li> </ul>	<p>(対策の左記基本方針は、公共交通機関利用制限の一部緩和を覗き、凡そ継続。)</p>	
【運行率】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パリ市内交通：～50% (利用者数：10%)</li> <li>・ 長距離鉄道：7%</li> <li>・ 飛行機：～5%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パリ市内交通：75%～ (利用者数：20%)</li> <li>・ 長距離鉄道：30%～</li> <li>・ 飛行機：～5%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パリ市内交通：～100% (利用者数：～40%)</li> <li>・ 長距離鉄道：～100%</li> <li>・ 飛行機：～15%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パリ市内交通：約100%</li> <li>・ 長距離鉄道：100%</li> <li>・ 飛行機：～40%?</li> </ul>

## 医療従事者の移動を支援する輸送サービス(パリ市内)

鉄道	TGV 及び在来線特急を無料化
バス	市内の各病院と鉄道駅を結ぶ路線を創設
Uber	利用料金を25%引き
電動スクーター*	30分無料サービス
自転車*	30分無料サービス

出典 : [100221482.pdf \(emb-japan.go.jp\)](#)

# 医療設備を整えたTGV(高速鉄道)による危篤患者の搬送



出典：SNCF



## 運行事業者の業績への影響

・公共交通運行事業者の2020年業績: 輸送人員が大きく減少した割に、売上高の減収幅は限定的。

例: RATP(パリ交通公団) 輸送人員: 前年比-43%に対し、売上高: 前年比-3.2%のみ。

⇔日本の地下鉄や都市交通の運行事業: ほぼ同様の割合で減少。

⇒公共交通運行事業者が対象とする事業の地理・契約面での多様性の有無が要因。

日本: 大半の都市交通が私企業により運営されている。

フランス初めヨーロッパ諸国: 公的主体が、地下鉄・バス・トラム等諸々含めた域内公共交通全体の運営・運航を運行事業者に委託している。

⇒一時的に国内公共交通の輸送人員が増減しても直ちに運行事業者の収入に影響がない。

---

## 中長期的な交通政策 1) 従来施策の維持・拡充

・Covid19感染拡大以降、移動制限を応じて公共交通の利用状況は変化し、運行事業者は運行量・スケジュールの調整や、感染予防のハード・ソフト両面での対策を実施。

・しかしながら、中長期的な交通政策の方針は変化していない。

・1982年制定の従来の交通法典では対応しきれない諸課題を解決するための

### 2019年「モビリティ基本法」(LOM法)

①日常の移動の改善(交通空白地域の解消、バイアフリー化など)

②新たな移動解決策の展開(新モビリティの利用やMaaSの推進、プラットフォーム事業の運転者・配達人の労働環境改善など)

③環境負荷の低減(自動車やEVの利用環境整備、相乗り・テレワークの推進等)

# 再興計画中の交通関連施策

- ①鉄道セクター支援（47億ユーロ）
  - ・鉄道網の更新
  - ・貨物鉄道・夜行列車の再開
  - ・バリアフリー化 等
- ②日常の移動改善（12億ユーロ）
  - ・地下鉄・トラムの延伸
  - ・自転車道の増設 等
- ③自動車のエコロジー転換（27億ユーロ）
  - ・エコカー購入・買換え補助金の延長 等
- ④道路インフラの変革（5億ユーロ）
  - ・EV用充電設備の拡充
  - ・相乗り車両等専用レーンの設置 等
- ⑤港湾・河岸の開発（4億ユーロ）
  - ・港湾のグリーン化 等
- ⑥次世代航空機の製造（19億ユーロ）
  - ・バイオ燃料航空機の研究開発 等



# 気候変動対策・強靱化法案中の交通関連規定

- ①環境負荷の低い移動手段への転換
  - ・ 2030年1月、環境汚染度の高い（NEDO 95 g/km以上）自動車の販売終了
  - ・ 環境保護の観点を踏まえた急行列車の料金設定 等
- ②道路貨物輸送の最適化
  - ・ 重量物輸送車両のディーゼル燃料税の水準引き上げ
  - ・ モーダルシフト促進のための地方税創設 等
- ③航空輸送による温室効果ガス排出抑制
  - ・ 連帯税の引き上げ検討
  - ・ TGVによる2時間半以内の移動が可能な地域間を結ぶ国内航空路線の廃止
  - ・ 容量拡大目的の空港整備の禁止
  - ・ 国内航空全路線における2024年1月時点でのカーボンオフセットの達成

## 中長期的な交通政策 2) 新たなビジネスモデルの模索


### 2018年「鉄道改革に関する法律」

日常の移動の改善及び、SNCF(フランス国鉄)の競争力強化を含む国内旅客鉄道の市場開放に向けて必要となる各種条項が盛り込まれた。

Covid19対策を通じて、検討の必要性を改めて認識された課題

EU統一市場内の自由競争を歪めないことを確認するため、政府は事前にEC(欧州委員会)からの許可を得なければならない。

例: 2021年4月: エールフランスの資本増強⇔ECはエールフランスが有するパリ・オルリー空港の24の発着枠を放棄するよう要求。その後18で決着。



# Updates on Covid-19-related Measures in ITF Members Countries



On the **ITF Website**, You can see the latest policy responses by country

Covid-19: See the latest policy responses by country

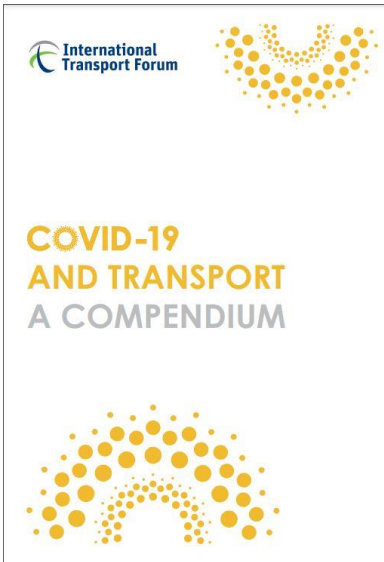
International Transport Forum member countries

Albania	Germany	Netherlands
Argentina	Greece	New Zealand
Armenia	Hungary	North Macedonia
Australia	Iceland	Norway
Austria	India	Poland
Azerbaijan	Ireland	Portugal
Belarus	Israel	Romania
Belgium	Italy	Russia
Bosnia-Herzegovina	Japan	Serbia
Bulgaria	Kazakhstan	Slovakia
Canada	Korea	Slovenia
Chile	Latvia	Spain
China	Liechtenstein	Sweden
Colombia	Lithuania	Switzerland
Croatia	Luxembourg	Tunisia
Czech Republic	Malta	Turkey
Denmark	Mexico	Ukraine
Estonia	Moldova	United Arab Emirates
Finland	Mongolia	United Kingdom 11 Vice-Presidency
France	Montenegro	USA
Georgia	Morocco Presidency	Uzbekistan



## Covid-19 insights: the Compendium

Our main work streams assisting ITF member countries in tackling the Covid-19 crisis are now compiled in a single Compendium.



The Compendium collects insights from our various work streams including our Covid-19 Transport Briefs, webinar outputs, crisis measures in European road transport and a summary of freight recovery guidelines in the ASEAN region.





**ご清聴ありがとうございました!**

**Asuka Ito  
Policy Analyst**

[Asuka.Ito@itf-oecd.org](mailto:Asuka.Ito@itf-oecd.org)

**Resources:**

<https://www.itf-oecd.org/covid-19>

<https://www.itf-oecd.org/sites/default/files/covid-19-transport-compendium.pdf>